雄飛

霧島市立国分南中学校
学校便り 10月1号
令和8年 10月8日発行

校訓　考える人　心豊かな人　たくましい人

団結は成功を導き、やがて光となった

校長　平國弘明(ひらくに こうめい)

「２０日に延期する」。９月１９日６時過ぎ、翌２０日への体育大会の延期を決定した。グラウンドコンディションの悪さ、準備開始時刻が見通せない状況であったことが大きな理由である。開始時刻の繰り下げ、競技種目等の入替或いは削除も考えたが、生徒の活動の場の確保が最も重要なこととの思いから、前記の結論に至った次第である。

６時３０分、LINE スクールにて、「順延」の連絡を流す。各小学校等、関係各所へ電話にて連絡を行う。体育科や既に学校に来られていた先生方が、できる準備を行った。校庭にはいくつか水溜りがあり、テント下はぬかるんだ状態。天幕の張りが弱かった部分には大量の水が溜まっている。その排水のため、棒で突くと、大量の雨水が流れ落ち、下はさらにぬかるんだ。８時を過ぎる頃には雨も上がった。９時過ぎには、校庭の水溜りもほとんどなくなり、ラインが引ける状態となった。そのライン引き、校舎軒下や渡り廊下の清掃、立ち入り禁止区域のロープ張り、掲示物の取付、テントの修正、編成門の設置、防球ネットの固定などが１９日の午後にかけて行われた。

翌９月２０日日曜日。前日より気温が上がるという予報はあったが、絶好の体育大会日和となった。この日も早くから、先生方が集まり、生徒も７時１５分には多くの生徒が登校し、椅子運びや準備に勤しんでいた。



８時３分。開会式開始。緊張しながらも生徒の態度は落ち着いていた。優勝旗、優勝カップが返還され、戦いが始まった。団長らの表情に気合が入るのを感じた。実行委員長あいさつ、競技上の注意へと進み、生徒代表宣誓。団長・副団長の声が会場を突き抜けた。これから、全力を尽くすという姿勢を彼らが会場に、各団員に示して見せた。選手種目、1500m、800m、100m 走。応援に後押しされたかのような走り。レース後には、観客の割れんばかりの拍手が会場に響いた。全員リレー。「みんな、手を抜いていない。すごいなぁ。」という声が観客席から聞こえる。心配されたバトンパス時の接触等もなかった。ほっとした。部活動紹介。野球部が先導する。皆、いい表情である。ＰＴＡ会長さんの慰労と激励の声掛け後、フィールド内では、３年生や顧問の先生が集合写真に笑顔で収まっていた。いいシーンだと思った。仲間とチャレンジ。盛り上がりが最高潮に達する。さすがの３年生。負けじと２年生が奮闘。１年生も成長の姿を見せた。圧巻のチームワークを見せた２年２組。鮮やかな試合運びで、圧倒的な記録をたたき出した３年４組。いずれもこれまでの新記録。すばらしいパフォーマンスだった。続く応援合戦。ほんの数日前までは、正直、大丈夫か？と思っていたが、意識の高まりか、ギアが格段に上がっていた。各団ともキレ、シンクロ度、スピード、力強さのいずれにおいても素晴らしい出来栄えだった。ラストを飾ったのは、色別対抗。赤組が先行し、他の組が追いすがる展開。レース序盤から中盤。赤がリードを保つが、徐々に差が詰まっていく。２位以下は、順位が目まぐるしく変わる。中盤から後半。白が黄を交わし、赤に迫る。後半からフィニッシュへ。赤がトップに立つ、そのままテープを切る。以下白、青、黄の順となった。手に汗握るとはまさにこのことで、実に見ごたえのあるレースであった。熱気冷めやら







ぬ中、皆が各団テントに集結。閉会式。総合優勝赤団、応援の部の優勝は黄団に軍配が上がった。一方、敗れし側の態度も立派だった。勝者を称える言葉。頬には、悔し涙がつたわっている。後ろ姿は、小刻みに震えていたが逞しさとともに成長を感じた。表彰、新記録賞、総合、応援と続く。受賞代表者の表情は実に自信と満足に満ちたものだった。校歌が響き渡り、万歳三唱、閉会宣言により大会の幕が下りた。自画自賛で恐縮だが、今年も実に素晴らしい出来栄えだった。来賓の皆様にも熱き想いや漲る闘志は十分に伝わっていた。「よかったぁ、素晴らしい」というつぶやきがそれを物語っていた。総応援団長・副団長、各団長・副団長、生徒会及び競技役員諸君ご苦労様、選手、そして生徒諸君、よく頑張った。全員に拍手！保護者の皆様、地域の皆様、応援、観覧ありがとうございました。先生方もお疲れさまでした。

吹奏楽部第４６回定演演奏会

国分南中学校吹奏楽部第４６回定期演奏会が国分ハウジングシビックホールで９月２７日（日）１４：００から行われた。今回は国分ハウジングホールが改装中で、会場の大きさはサイズダウンしたものの、観客と演奏者の距離が近く、演奏者と観客の一体感を味わうことができた。顧問の先生も、「吹奏楽部という部活は聴いてくださる方々がいて、初めて成り立つ部活なんだ。」と常々おっしゃっている。まさにそのことを実感する会でもあった。ここに至るまでは、かなりの苦労があったと聞いている。３年生にとっては最後の晴れ舞台。３年生が紹介される場面もあり、実にいい表情であり姿だった。ここまで続けてきたことをまずは称えたい。今後も音楽を続ける人もいよう。音に思いを乗せ、多くの人に届けてもらいたい。

３年生は引退するが、その想いや国分南中吹奏楽部の伝統は１、２年生をはじめ、次の世代に託される。３年生の抜ける穴はやはり簡単に埋めることはできないだろうが、自分たちらしい音作りを楽しんでもらいたい。

吹奏楽部現役部員、ＯＢ・ＯＧ部員、保護者会の皆様、顧問の先生方、お疲れさまでした。

生徒会選挙＆演説会　～先輩の熱い思い引き継いで～

先週、金曜日に生徒会役員選挙が行われた。立候補者が国分南中学校への思いや自分の意見や考えを述べる堂々とした姿に、感動すら覚える演説会だった。誰に任せても南中のことを大切に思い、先頭に立って、よい学校づくりに励んでくれるであろうと感じた。選挙管理委員会の運営もすばらしかった。実にスムーズであり、しっかりしていた。演説も運営も準備に相当な時間をかけてきたであろうことが容易に想像できた。一方、聞く側の態度もすばらしかったと思う。全員が候補者一人一人を大切にし、応援者のごときふるまいだった。南中生の温かさを感じ、ジンときた。

選挙は、国、市町村等にとっても非常に重要なシステムである。選挙が行政府をつくると言っても過言ではない。選挙により、行政の長である首長、立法府を担う議員はすべて選挙で選ばれているからである。それを選ぶのは、市民であり国民である。つまりは私たちが国や市町村づくりに関わっているということである。生徒会役員選挙も同様である。一人ひとりが生徒会の一員であり、学校生活をつくっていく責任ある立場にあることを常々意識しておかなくてはいけない。加えて、いずれは社会を構成し、社会を発展させていく一員になることを踏まえ、このような機会に、主権者としてのリテラシー（能力）を高めていくことは、自分や社会にとって極めて重要なことである。主権者として、必要なことを学び、理解を深め、これらに対する自分なりの考えをもつということに取り組んでいこう。

受賞・表彰

8/30　全日本少年軟式野球大会地区予選3位

9/6　県秋季学年別水泳競技大会　男子50m平泳ぎ第3位　　同女子50mバタフライ3位

同男子400m自由形2位